

だいせん市議会だより

あなたのギカイ

令和7年2月1日 第79号 12月定例会の内容を分かりやすくお伝えします。

CONTENTS

- こんなことが決まりました……………P 2
- 聞いてみたいなこと……………P 4
- 行政視察報告……………P 9
- 市政懇談会での質疑等……………P10
- きかせて！あなたのミライ……………P14

広報広聴の仕組みづくりを学んできました

会場：岩手県滝沢市役所（広報広聴常任委員会行政視察）

第4回定例会 議案審議

大仙市の

こんなことが決まりました

第4回定例会 会期21日間 11月29日～12月19日



令和6年
第4回定例会

第4回定例会

専決処分報告	1件
条例案	8件
単行案	7件
補正予算案	9件
請願	1件
陳情	4件
意見書案	1件

※議会用語解説はこちらから



今号では
この中から
3つを
Pick up

全ての議案名と審議結果は、大仙市議会ホームページをご覧ください。



議案の審議結果

〈議案第161号〉令和6年度大仙市一般会計補正予算（第10号）

Pick up 1

南外コミュニティセンターホール 照明のLED化更新工事を実施

南外コミュニティセンターホール内の照明設備について、安定器の劣化によるちらつきや、点灯不良箇所の増加による照度不足が見られ、利用に支障が生じているため更新工事を行います。

更新に当たり、高い照度が確保でき、消費電力を大幅に少なくすることができLED照明にします。

こんな質問が出ました

A もっと早めの対応ができなかったものか。今後も同様の案件等についてはスピード感を持った対応が必要ではないか。
Q 安定器の劣化等による設備の不具合が目立ち始め、市民の要望もあり更新を進めることとした。市施設全体のLED化については財産活用課で調査を進めており、今後、各施設で対応を図る予定である。



Pick up 2

障がい者福祉システムを改修し、利便性やチェック機能を強化

就学前における障がい児の発達支援無償化に係る認定手続きの簡素化、同一世帯に複数児童がいる場合の利用者負担上限額管理の利便性向上や障がい福祉サービスの二次審査チェック機能強化のため、障がい者福祉システムを改修します。

障がい者・児の福祉の増進を図るとともにニーズに沿った適切なサービスの給付を行います。

こんな質問が出ました

市内において、障がい福祉サービスの種別が少ない、またはサービスが無いために近隣市町の事業所を利用している方は何人いるか。

A 療養介護サービスとして国立病院機構あきた病院等を利用している方が25人、宿泊型自立訓練サービスとして湯沢市にある事業所を利用している方が1人いる。市としては、障がいの状態やニーズに応じたサービスの提供体制を整備

することは必要と考えており、事業所の意向も踏まえサービス提供いただけるよう働きかけていく。



Pick up 3

指定管理者制度の運用について

「大曲地域職業訓練センター」、「大仙市神岡生産物直売・食材供給施設及び大仙市神岡交流促進センター」、「大仙市中仙地域農業総合管理施設」、「大仙市大曲体育館等」、「大仙市ふれあい体育館等」の指定管理者を指定しました。

こんな質問が出ました

Q 大曲地域職業訓練センターや技術専門校の利用者が減少している現状を考えると、秋田県立大曲技術専門校との連携を考えても良い時期になっているのではないかと考える。これまで検討したことはなかったのか。

A 秋田県立技術専門校との共存について、将来的な構想はもっており、選択肢の一つとして考えている。今後協議を進めてまいりたい。

Q 指定管理者制度は市の経費を減のためだけではなく、利益が出ていることを理由に指定管理料を減額することは良い方法ではない。利益は経営努力によって生じたもので、その努力を評価し奨励すべきであり、適切な指定管理料の算定・確保をしてほしい。

A 持続可能な施設運営となるよう、制度・予算関係部署と調整を図り、適正な指定管理料の確保に努めてまいりたい。

聞いてみたいな
こんなこと



一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活に関わる内容がありますか？

質問議員 9人 質問項目 17件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。各議員顔写真の下にあるQRコードを読み取り、ご覧ください。

市政運営の手応えや所感、
次期市長選に対する考えに
ついて



佐藤 育男
(大地の会)



Q 老松市長は「大仙市の全ての地域をすみずみまで元気にしたい」という信念のもと、強い決意と覚悟で、誠心誠意、全力で市政運営に取り組まれ、市民からも高く評価されている。これまでの市政運営の手応えや所感、そして次期市長選に対する考えを伺う。

らなる発展と飛躍に向けた礎を築いていくことであり、「市民の皆さまの幸せと大仙市の発展につながる共創のまちづくり」、そして「住み続けたい、将来に明るい希望が持てるまちづくり」に誠心誠意、全身全霊をかけて取り組んでいく。

A 先の市長選において約束した「だいせん^{ひら}の未来を拓く10の公約」と、それにひも付く42の施策全てに取り組み、本市の将来都市像に一步一步、着実に近づいていることを手応えとして感じている。これは協働・共創のまちづくりの成果とされている。

私が果たすべき責務は、道半ばにあるまちづくりを着実に進め、これまで築き上げてきた「ふるさと大仙」の未来を切り拓き、さ



物価高騰などの影響を受けている事業者に対する支援について



佐藤 芳雄
(だいせんの会)



Q 燃料・原材料の高騰や最低賃金の引き上げ等、経営コストの上昇に苦しむ地域の中小・小規模事業者が長期的に安定して経営できるような継続的な支援をお願いする。

A 国では賃金上昇が物価上昇を安定的に上回る経済の実現を図るため、価格転嫁等の取引適正化の推進や、電気料金や原油の高騰に対する支援を実施する総合経済対策を定めている。また、地域の実情に応じた施策を展開できる「重点支援地方交付金」も措置されるため、動向を注視し支援策を検討していく。

Q 昨今多発する大雨により、生活や経済に大きな影響を及ぼしている。自家発電装置や防災用品などを配備するため、市独自の助成制度

を導入してはいいかがか。

A 地域防災計画では企業が被災した場合に、早期復旧を可能とするための行動や資機材の整備等をまとめた計画であるBCPの策定を重要な位置付けとしている。市内の企業にBCPの重要性を認識いただき、BCPの策定と県制度の有効活用を図られるよう周知に努め、必要な支援について研究していく。

この他、食品製造・加工事業者と生産者とのマッチング支援および新たな販路開拓支援について質問しました。



体育館への空調設備の設置について



秩父 博樹
(公明党)



Q 近年は、酷暑時など体育館に空調がないと子どもたちが安心して運動できないような状況がある。また、災害時に避難所となる体育館での災害関連死などを招かないためにも空調設備の設置が重要である。

A 設置が進まない要因として、大きな財源が必要であるためと認識しているが、国から「補助メニューの強化」が示された際には設置に向け取り組みではどうか。

A 国の補助要件として、空調の効率的な運用のため施設の断熱性確保が必須であり、建築から30年以上経過している体育館が7割以上である本市においては、施設全体の整備が必要となり事業費が掛かり増しになる。導入費用が多額になることに加え、燃料代など維持管理コストも考慮しながら、慎重に整備計画を検討していく必要がある。

ほかに、学校の音楽室や特別教室への新設要望も寄せられていることから、引き続き国の補助メニュー強化の動向を注視しながら、空調設備の計画的な整備に努める。

この他、GIGAスクール端末の更新について質問しました。



予防接種費への助成拡充について



安達 成年
(大地の会)



Q 子育て支援策の一環として、任意インフルエンザ予防接種費（生後6カ月から18歳年度末まで）およびおたふくかぜ予防接種費（市の推奨年齢者）について全額助成できないか。

A 市としては、予防接種の重要性を十分に認識しており、さらに助成を拡充することにより見込まれる効果や、財源の確保等について、子育て支援制度等検討会議などで研究してまいりたい。

Q 高齢者の支援として、75歳以上の高齢者のインフルエンザ予防接種費への半額助成についても伺う。

A 高齢者へのインフルエンザ予防接種助成についても、現行の助成制度を継続しながら、高齢者の感染予防と接種勧奨に努めてまいりたい。



この他、エコドライブ選手権の検証と今後の方向性について質問しました。

Q 半額助成は無理でも、もう少し上乗せすることは予算上可能と思うがいかがか。

A 現在の千円という助成額については、ほかの市町村でも採用している額ではあるが決して高い方ではない。市町村全体の見直しの状況もあるが、高齢者の助成制度拡充については、いずれ検討していきたい。

人手不足の解消について



小笠原昌作
(新政会)



Q 人口減少による人手不足が社会の深刻な問題となっており。コロナ発生時から多くの職種で四苦八苦している。医療や介護、建設などでは、厳しい労働環境による離職も増えている。人手不足の解消のため、関係団体や企業とどのように連携を図り、取り組んでいるか伺う。

A 地域の高齢者介護を支える中長期的な人的基盤の整備や人材確保のため、大曲仙北広域市町村圏組合と連携し課題に取り組んでいく。

企業支援として労働環境整備にも活用できる「人材獲得応援補助金」がある。また、若者や女性が安心して就労できるよう各種事業を行い、離職防止対策として「職場定着セミナー」を開催している。

Q 冬場の安全な交通環境は重要である。人手不足により除雪業務に支障がないよう万全に取り組んでほしい。

A 除雪は10ある共同企業体が担っており、急な欠員調整は共同企業体内で行う。小雪時でも安定した収入を得られるよう、一定の稼働費を担保する待機補償制度も採用している。オペレータの健康管理に留意し、安全な交通環境の確保に努める。



原油・物価高騰対策について



佐藤 文子
(日本共産党)



Q 国の重点支援地方交付金の

推奨事業メニューに灯油助成も追加されたので、灯油購入助成を実施するとともに、その対象に住民税均等割のみ世帯を加え、支給額も1万円に引き上げてはいかがか。

A 秋田県の宅配灯油価格は、

昨年に引き続き高値で推移している。今後の国・県による物価高騰対策や近隣自治体の動向も踏まえながら、灯油購入費助成の実施の可否について判断していく。

Q 米価は50パーセント以上も

上昇する異常な価格高騰となった。家計はもとより、食事を提供する事業所は、経営に甚大かつ深刻な影響を受けていると思われるため、これらの実態調査が必要ではないか。また、支援事業や額の大幅な拡大が望

まれるがいかか。

A 米価高騰に関する実態調査について、消費者物価指数をはじめとする統計データの分析に加え、事業所等の現場の声も伺い、現状の把握に努める。「重点支援地方交付金」についても国の補正予算可決後、県事業とも調整しながら物価高騰対策事業を検討していく。

この他、介護保険利用状況と介護予防・生活支援サービス事業について、国保税子ども均等割減免の18歳までの拡大について質問しました。



乳がん検診と子宮頸がん予防ワクチンについて



挽野 利恵
(公明党)



Q 女性のがん罹患数第1位は

乳がんである。検診の選択の一つとして、検査による痛みや被爆がなく、発見率も高いなどメリットの大きい「無痛MRI乳がん検診」を加えるとともに、その検査に対しての補助ができないか伺う。

A 本市の一次検診においては、国が推奨するマンモグラフィ検査を継続していくこととしている。無痛MRI乳がん検診は様々なメリットがあり、精密検査としても有効との研究報告もあることから、検診の充実を図るため調査研究し補助についても検討していく。

Q 子宮頸がん予防ワクチン接

種について、補助期間である今年度中に1回以上接種している方は、期間終了後も公費にて3回の接種を完

了できるよう経過措置が設けられた。接種スケジュール等について、速やかに情報提供を行うべきと考えるがいかか。

A 国から今後のスケジュールおよび周知・広報の内容等について説明会が開催される予定である。内容を把握次第、速やかに市広報やホームページなどで周知していく。

この他、学校林について質問しました。



乳がん検診に使用するMRI装置

小中学校での個別最適な学びと協働的な学びについて



青柳 友哉
(大地の会)



Q 中央教育審議会の令和3年

答申で示された「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に対する取り組み状況は。

A 以前より課題解決の過程を重視した「秋田の探究型授業」に取り組んできており、

その中で個別最適な学びや協働的な学びを意識した活動が行われている。加えて、1人1台タブレットを用いたICTの利用によっても、これら二つの学びの一体的な充実を図っている。

Q 個別最適な学びと協働的な

学びの一体的な充実を大胆に試行する「モデル校」を選択通学制の特認校として設置し、そこで得た成果やノウハウを速やかに市内の学校へと展開してはいるか。

A 特定の学校をモデル校とするよりも、全ての学校で、

地域とのつながりを大切にしながら学校の実態や地域の特色を生かした魅力ある学校づくりを進めていく。特認校制度については、全国的に様々な形での取組があることは承知しているが、現段階で判断を下すことは時期尚早であると捉えている。

この他、公民連携窓口の設置について質問しました。



市営住宅を活性化させるには



戸嶋 貴美子
(だいせんの会)



Q 連帯保証人の条件を緩和してはどうか。市営住宅の入

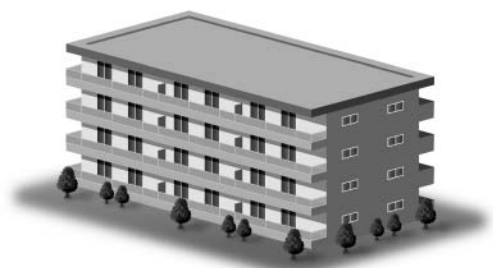
居の際、例えば、家賃の支払いをクレジットカード払いにすることで、連帯保証人を不要としている物件があるほか、家賃滞納などのリスクに備えることもできる。

A 連帯保証人は、市内の方をお願いしている。しかしな

がら難しい場合は、市外の方でも可能としており、確実に連絡が取れる方の選任をお願いしている。住宅使用料のクレジットカード払いについては、口座振替のような継続払いには対応しておらず、その都度支払う必要がある。登録口座からの定期の自動引き落としについては、先行する自治体の事例などを調査していく。

Q 市営住宅の空屋対策として、定住促進住宅などの地域活用を本市でも取り入れてはどうか。

A 市営住宅を若者向けや移住者向けなどの住宅として活用することは、目的外使用やリノベーションによる公営住宅の活用策として有効と考えるので、今後、調査、研究を進めていく。



産業建設常任委員会行政視察報告

10月28日、広島県廿日市市役所にて「観光の取組」と「産業連携の推進について」研修してまいりました。廿日市市を訪れる観光客の75パーセントは「宮島」を訪問しています。滞在時間が短く観光消費額が低いのが課題だそうです。稼げる観光を実現するため、観光地経営の視点に立ったDMO（観光地域づくり法人）の設立に向けて準備されているとのことでした。産業連携につきましては、「創業支援補助金」によって創業希望者を支援、「産業連携支援補助金」につきましては、2者以上の事業者で構成し、新商品・サービスの開発に取り組む事業に対して補助金を交付することでした。

10月29日は「宮島口みらい協議会」様の取り組みについて視察させていただきました。「宮島に行くために通り過ぎるまち」ではなく、宮島口全体を周遊してもらうために、様々な取組をされておりました。

10月30日は島根県出雲市にて「縁結びデジタルプロモーション事業」について研修してまいりました。出雲ファンをターゲットにインターネット広告を配信し、市の総括専用ウェブサイトに誘導し、交流人口や定住人口の増加につなげることを目的としているとのことでした。

（産業建設常任委員会

委員長 挽野 利恵）



島根県出雲市での研修



広島県廿日市市での研修

広報広聴常任委員会行政視察報告

10月7日、岩手県滝沢市議会において、「ワールドカフェ形式での議会報告会」、「議会モニター制度」について研修しました。議会報告会は2部形式で、第1部は議会からの報告、第2部では常任委員会ごとのテーブルに分かれ意見交換会の形式で行っており、参加者からは「議員の方々のやりたいことなどが理解できた」など前向きな意見があるそうです。

議会モニター制度は、モニターである市民の方々が議会運営に関する要望や改善提言を行う役割を担っております。基本理念として「開かれた議会」、「市民とともに歩む議会」、「行動する議会」をもとに市民と対話し市政課題の解決に向け取り組んでいました。

10月8日、茨城県取手市議会においては、「議会を知り・未来を語る出前授業」等を研修しました。議員が中学校に出向き、生徒が住みやすい街をつくるための提案にアドバイスをしながら一緒に作成します。生徒からは「自分の住んでいる街を改めて考えることができた」との声が聞かれるなど大きな効果が得られていました。

（広報広聴常任委員会

委員長 橋本 琢史）



取手市議会議場を視察しました



取手市議会にて視察研修を行いました

市政懇談会でいただいたご意見・ご要望について

6月24日（月）から29日（土）までに開催した、大仙市議会「市政懇談会」でいただいたご意見等をお知らせいたします。また、行政側へお伝えするとしてご意見等については、市議会から市当局へお伝えしており、対応済みであったり今後改善していただくこととなっております。

※紙面の都合上、ご意見等は一部抜粋して掲載しております。

※市議会ホームページには、当日いただいた107件、全てのご意見等を掲載しておりますので、

右側の二次元コードまたはURLからご覧ください。

URL <https://www.city.daisen.lg.jp/archive/contents-13831>



【当日の回答】

No.	地域	いただいたご意見	回 答
1	大曲 (サンクエスト大曲・内小友・四ツ屋)	国の方針やメディアの情報は必ずしも正しいものではないと思っている。議員の皆さんは、国の言うことに盲目的に従う大人であってほしくない。安全・安心で当たり前の権利が尊重される大仙市であってほしい。	私たち議員は、住民の暮らしや福祉を守るため、国の施策が住民に与える影響を吟味し、それぞれの立場で議会に臨んでいます。「駄目なものは駄目」と主張し、議論を重ねながら住民の願いを反映できるよう努力しています。
2		大仙市は「大曲の花火」が中心的な観光資源であるが、それ以外の観光資源の発信が弱い。市内全域の観光資源を整備・PRし、県外からの観光客誘致を強化すべきである。	市内全域の観光資源を活用し、観光の多様性を発信する重要性があると認識しています。市当局と連携し、既存の観光資源の見直しや、新たなPR戦略の策定に取り組んでまいります。
3		大曲地域内には子どもが遊べる遊具のある公園が少なく、近隣市町村まで移動しなければならない状況である。地元に遊具の整備を進めるべきである。	現在、神岡地域に屋内施設の整備計画が進行中です。子どもが安心して遊べる環境整備について、引き続き市当局と連携し、適切な整備を進めてまいります。
4		給食の支援が品質低下につながるおそれを懸念している。給食費不払いがない状況を目指し、本来支払われるべき金額を対象とした支援を検討してほしい。	令和4年度の給食費未納者は約1.6パーセント(160人)となっており、督促や児童手当からの充当などで対応しているため、品質低下とは直結いたしません。
5		秋田県では出沒したクマを即座に駆除する方針であるが、山に戻すなど他の選択肢も検討してほしい。山林の保全や広葉樹の植樹など、クマが人里に出沒しない環境を整備する必要があると考える。	クマは山間部の住民にとって大きな脅威であり、住民の安全確保を重視する立場から駆除が必要な場合もあると考えます。
6		コロナ禍で不登校児が増加している現状に対応し、居場所づくりを進めてほしい。特に「夢パーク」のような活動を参考にして、子どもたちが安心して過ごせる環境を整備してほしい。	大仙市では現在、週1回の交流センター「フレッシュ広場」や「ふらっと」、「びおら」、退職教員による学習支援など、不登校児が安心できる居場所づくりに取り組んでいます。
7		議会では市民の意見を「市に伝える」だけでなく、具体的に議会としてどのように取り組むのかを明確に示してほしい。	議会として市民の意見をしっかりと政策に反映させるべく、常任委員会での議論を通じて具体的な施策提案を行います。また、市当局への提言状況や進捗を市民に分かりやすく報告する仕組みを整えます。
8	神岡	商工費や衛生費などの予算を見直すことで、学校給食費無償化など重要施策への財源を確保すべき。また、予算編成の際に施策の優先順位を明確化してほしい。	各施策の予算配分や優先順位については、議会全体や委員会で慎重に審議を行っています。無償化を含む重要施策については、引き続き議論を深めていきます。



協和会場



南外会場



サンクエスト大曲会場

No.	地域	いただいたご意見	回 答
9	西 仙 北	幼稚園と保育園の統合に際して、施設状況を十分確認し、子どもたちが安心して過ごせる環境整備としてほしい。統合の進め方に当たり、現場の設備状況や保護者の意見を十分に反映してほしい。	統合について市と連携し、地域の声を反映しながら進めます。各施設の状況を確認し、安心できる環境を整備してまいります。
10		議会で審議した議案に否決・修正したものはあるか。請願・陳情の審議結果の意味、また、不採択議案の内容と扱いを例示してほしい。	これまで議案の否決はほとんどありません。陳情・請願審議結果の例として、「趣旨採択」は賛同しつつも実現困難な場合に用いられます。最近の不採択例として「こまちRを給食に使わない」という陳情がありました。
11		子育て環境と地域活動施設の整備について、子育て世帯が安心して利用できる施設や、地域活動に適した公共施設の整備を進めてほしい。	既存施設の活用を進めるとともに、不足部分について市と協議し改善を図ります。
12	中 仙	災害時、被災地では水不足やトイレの問題が出てくる。いざというとき、避難所に水や簡易トイレなど備蓄品は充実しているものか。	広い面積を持つ大仙市は災害時に道路の寸断で備蓄品が運べなくなる危険を回避するため、備蓄品は市内40カ所ほどに分けて保管する分散備蓄をしています。備蓄品の一覧は市のホームページに掲載されています。中仙地域では、支所、農村環境改善センター、中仙中学校、水防倉庫の4カ所に備蓄されていて、農村環境改善センターには布団や水など必要なものはそろっています。
13		もし被災した際に避難所で床に直接布団を敷いて寝たり、仕切りの壁がないような空間でストレスがたまる生活を数カ月すると思うと不安。仕切りや段ボール等の準備はあるか。	仕切りはある程度準備しています。2畳ほどの大きさでプライベートが保たれます。また床に直接寝ないように段ボールベッドの用意もあります。
14	協 和	国道13号の複車線化が一部で進んでいるが、大仙市内の整備状況はどうなっているのか。	国道13号および46号の複車線化は長年要望しているものの、河辺以降の進捗が止まっています。6月には峰吉川の歩道橋が撤去されましたが、安全確保のため整備を要望中です。大仙市も期成同盟会を通じて秋田市や横手市などと協力し、事業化に向けた活動を続けています。
15		P T A会長が集まる連合会の中で市政懇談会を開催してほしい。若い年代の意見も集められる機会になると思う。	連合P T Aとの意見交換会について要望があれば広報広聴常任委員会から出向く用意があります。貴重な意見を伺える機会として、ぜひ対応させていただきます。
16	南 外	マイナ保険証の利用率は低いようだが、大仙市が行う取り組みを教えてください。	大仙市では国の方針に従って保険証切り替え時等に周知しています。
17	仙 北	国からの交付金に頼り3割自治といわれるが、自主財源を増やす策はあるものか。	自主財源を増やすための有効な手立てには、公共施設の有料化、遊休地の処分など市民の負担を増やす必要があります。企業であればここで利益を得られますが自治体は営利目的ではないため難しく、国や県の制度を利用し、必要なものは国から応分に負担してもらうことが大事だと考えます。国の制度を理解し将来も運営できるような効率的な財政運営の方法を勉強していかなければなりません。
18	太 田	太田地域の学校統配合の計画はあるか。進捗状況は。また、昔あった地域の学校に通うという学区制度はどうなっているか。	学校統配合は現在、全庁的な検討組織で計画を策定中であり、今年度中には示される予定です。学区という区分けは現在もありますが、事情がある場合など学区をまたいで通うことができます。
19		農業後継者育成について。あと10年もすると担い手がいなくなると思う。研修施設の研修生が農業にチャレンジしないで終わることがあるようだ。予算を伴っていることであるので就農しているのかいないのか検証してほしい。我々は研修生を歓迎し後押ししたいと思っている。	これからの農業は人材確保が重要であり、入り口を作ることが必要です。研修しても10年後就農しているかというところでない場合もあるが、ゼロではないと思います。引き続き、研修生を募集し、ここにきて就農したとき、周りが支援するなど就農できる環境であることが大事であり、研修をスタートにその後もフォローしていけるよう提案していきます。

【委員会等で協議するとしたもの】

No.	地域	いただいたご意見	回 答
1	ト大曲・サンクエス 大曲（サンクエス）	市政懇談会の参加者が高齢者に偏っている。若い世代も参加しやすい開催形式を検討してほしい。	懇談会の形式については、若い世代が参加しやすい方法を広報広聴常任委員会で引き続き検討します。土日の開催や新たな形式の導入についても議論を深めます。
2		議会の内容を市民がより簡単に確認・閲覧できるよう、QRコードを活用して、録画データ等へアクセスできるようにしてはどうか。	広報広聴常任委員会の所管部分であるため、今のご意見を参考にさせていただきます。
3	神岡	B & G プールの解体後に計画されている屋内遊び場施設について、地域の意見を反映させる仕組みが必要。また、美郷町など他地域の施設を参考に大仙市独自の魅力を備えた施設とすべき。	屋内遊び場の設置計画は解体工事と並行して進行中であり、地元住民の意見を取り入れるための手段を議会でも議論していきます。
4		懇談会では地域の課題に即した話題を中心に引き上げてほしい。住民が身近に感じられる内容が必要。	懇談会の運営について、参加者の意見を反映し、地域ごとの課題に即した内容や進行方法を検討します。
5	西仙北	合併後、人口が10万人から8万人以下に減少し、空き家も増え、地域行事への子どもの参加もなくなるなど、地域の活力が低下している。市議会や市長はこの現状をどう捉え、どのように改善していくのか具体策を知りたい。	人口減少は深刻な課題として受け止めており、特に若者が地元に着定するため、学校や地元企業と連携し、卒業後の地元就職を促進しています。給食費の軽減や子育て支援策も検討中であり、議会としてさらに具体的な施策を進めていきます。
6		自宅介護世帯への支援がある一方、施設介護世帯への支援が不足していると思う。この格差を埋める施策を検討してほしい。	いただいた提案を議会に挙げ、具体的な支援策の拡充に向けて努力していきます。
7	協和	こうした場で、人口をどう増やすかの議論だけでなく、小中学生も市政懇談会に参加できるような席を設けてはどうか。また、コロナ禍を経て社会が大きく変化した今、新しいやり方で、大仙市を全国にアピールできるような施策を打ち出してほしい。	市政懇談会は、曜日・時間によっては限られた人しか参加できないというのが現状です。様々な年代の方々から大仙市を盛り上げるための意見をいただければ、担当の広報広聴常任委員会で声を掛けて、人が集まるような懇談会にしていきたいと思います。
8		大仙市は八つの市町村が合併して誕生したが、各地域に根ざしたやり方で市政懇談会を実施すれば、意見が出しやすくなり、多くの人が参加しやすくなるのではないかな。	昨年度は地域ごとにテーマを定めて市政懇談会を行ったが、テーマを絞ることで他の質問がしにくい雰囲気があったため、今回は以前のスタイルに戻しました。多様な世代の方々に参加しやすい懇談会のスタイルについて、意見を参考に改善を進めていきます。

【行政側へ伝えたご意見等】

No.	地域	いただいたご意見
1	ト大曲・サンクエス 大曲（サンクエス）	長年にわたり組合が維持管理してきた道路消雪のパイプが老朽化し、修繕費用が増加している。市の補助金を増額するか、施設を市直営で管理する仕組みを検討してほしい。
2		市内の横断歩道や白線が消えかかっており、歩行者の安全が脅かされている。速やかに補修を進めるべきである。観光的にも見た目が悪い。
3		救急対応時にスマートフォンを利用した緊急通報システム「ライフ119」を導入するべきである。迅速な対応により市民の安全を確保できると考える。
4		市職員の対応が横柄で親しみに欠けると感じる。それが市職員の給与が高いのではないかなという声にもつながる。親しみやすい対応が求められるのではないかな。
5		アメシロ防除の周知が実情に合っていない。発生後に連絡し対応できる仕組みを整えてほしい。
6		空き家が増加しており、街部と郊外のサービス格差が広がる懸念がある。また、女性の流出を防ぐための対策が必要ではないかな。

No.	地域	いただいたご意見
7	大曲 (四ツ屋)	昨年、20年以上除雪していた道路が通行止めになった。地元住民には事前説明がなく、交通量調査などの裏付けも不明で、納得できない。予算の問題もあるかもしれないが、通行止めの決定には地域住民への説明が必要だと感じる。
8		学校や保育施設の統廃合に当たり、地域コミュニティのつながりが失われる懸念がある。単なる少子化対策としての統廃合ではなく、地域の経済や社会活動への影響を考慮してほしい。
9		四ツ屋地区に公園が欲しい。子どもたちが遊ぶ場所がなく、大曲の公園まで行く必要があるため不便を感じている。また、公園と併設して、世代交流の場になるような施設ができればいい。
10	神岡	福祉センター解体後、代替施設として使用する改善センターの現状が良くない。和室のふすまが破れているほか、玄関の危険な設置物も目立つ。神岡地域の住民が誇れる施設となるよう、小規模修繕を含めた整備を年次計画で進めてほしい。
11		神岡地域の中央公民館周辺施設に総合計画があるか確認したい。神岡球場内の危険なあずまの解体や環境整備を早急に進め、少年野球大会や天皇杯などの大会にふさわしい施設とすべき。
12	西仙北	農業の後継者不足が進む中で、若者が大仙市に残る仕組みを構築してほしい。住環境の改善や子育て世帯の交流拠点の整備も必要ではないか。
13		支所から借りた防除機械が短時間で故障し、住民活動に支障が出た。地域活動には皆時間を調整して出ているので、点検や修理を徹底し、このようなことがないようにしてほしい。
14	中仙	八乙女交流センターが民間企業の指定管理から市直営に今年度から変更になった。しかし、宿泊がしにくくなったようだ。改修してよくなったと思っていたため残念に思う。
15		1人暮らしの高齢者と話をした際、タクシー券が減額されたという話を聞いた。そういった支援はどのようなになっているのかお聞きしたい。
16		長野公民館が近いうちになくなるという話を聞いた。長野公民館のこれからの展望や検討していることがあったら説明していただきたい。
17	協和	昨今のクマ出没対策に関連して、他市では庭木伐採に補助を行っているところがある。大仙市でも検討してほしい。不在地主が管理する樹木も含め対応を求めたい。
18		小学校周辺でのクマ出没対策として、見守り活動時用のクマスプレーや、音を出す機器などを予算化して配備してほしい。現状では、保護者が安全を確保するための道具が不足している。
19	南外	大仙市は民謡の宝庫だが後継者不足問題で各団体は悩んでいる。伝統芸能に興味を持ってもらえるような後継者育成を盛り上げてもらいたい。
20	仙北	ふるさと納税額が年々伸び、子ども支援等に多く使われて良いことだと思うが、中高生に対する支援が少ないと感じている。中高生に地域に対して思っていることなどを意識調査としてアンケート等を行ってはいかがが。「国づくり＝人づくり」人に対する予算を厚くしていくべきと考える。
21		仙北地域には払田柵跡、旧池田氏庭園があり予算は付いているようだが、もう少し整備してもらいたい。払田柵跡はガイダンスが閉まっているとトイレが利用できないため仮設トイレを設置してもらっている。文化財とその周辺は大事に守ってもらいたい。
22	太田	コンパクトシティ構想については中心部の大曲と旧町村をつなげる交通が課題であると思うが、同じ市民としてどの地域からでも同じ料金で行き来できるようにしてほしい。また、料金を下げた場合に利用が増えると試算し、現行との経費比較をしてみしてほしい。
23		移動販売車支援について。買い物に難しい高齢者にとっては、自宅訪問など、便利で懇切丁寧な対応に感心している。何か支援し、継続してもらえる手助けをしてほしい。
24		あか松庵周辺の整備について。栗が実った頃、木にクマが登った。おりを設置したが捕獲できなかった。大木の枝が折れて垂れ下がっていたり、枝葉も下の方から繁茂していて薄暗い感じがすることも、クマが来やすい要因かと思う。近くのもりぼの里には子どもたちが訪れるので、落ちた枝葉など撤去し、安全に散策できる環境を整えてほしい。



中仙会場



仙北会場



角間川会場

きかせて！あなたのミライ

大仙市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。



さとう ゆな
佐藤 結夏 さん (四ッ屋小学校6年)

■運営委員会の副委員長として委員長を支えています。全校のみんなに学校が楽しいと思ってもらえる集会を企画したり、羽根募金を通じて社会に貢献するお手伝いをしています。■習字を習っています。字をきれいに書きたくて始めました。少しずつ級が上がっていくことにやりがいを感じます。■ブラウブリッツ秋田を応援しています。大声を出したり、手拍子、ジャンプをして応援します。ゴールが決まった時、勝った時に周りの人と喜び合えることがとてもうれしいです。■将来はテレビ関係の仕事に就きたいです。ニュースを読むアナウンサーがかっこいいと思ったからです。夢に向けて、知識を深めたり、ゆっくり話すことを心がけています。

3月定例会

日	月	火	水	木	金	土
2/16	17	18	19	20 本会議 議案等上程	21	22
23	24	25	26	27	28	3/1
2	3 本会議 一般質問	4 本会議 一般質問等	5 本会議 予算質疑	6 各常任委員会 審査～10日	7	8
9	10	11	12	13 本会議 委員長報告等	14	15

※定例会日程は変更される場合があります。
変更内容は、議会ホームページでお知らせします。



市議会だよりのご感想などをお寄せください

市議会だよりのご感想や大仙市議会に対するご意見、ご要望などを次の方法により、議会事務局へお寄せください。

- ①郵 送 ・宛先：〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号
大仙市議会事務局あて
- ②FAX ・番号：0187-62-8822 (議会事務局専用)
- ③メール ・アドレス：gikai@city.daisen.lg.jp

こちらのQRコードからメールを作成いただけます。



議会の傍聴について

本会議及び委員会は公開されており、傍聴することができます。傍聴をご希望の方は、議会開会日に、大仙市役所大曲庁舎3階、議会事務局窓口までお越しください。

請願・陳情について

3月定例会で審査される請願・陳情は、2月10日(月)までに提出されたもので、それ以降に提出されたものは、次の定例会での審査となります。

編集後記

委員

高橋 徳久

■令和7年乙巳年が明けました。市民の皆さまには、思ったよりも穏やかなお正月3が日をお迎えになったことと思います。■今回、昨年6月下旬に各地区で開催された「市政懇談会」でいただいたご意見・ご要望や当日の回答を、今月号にて報告させていただきました。しかし委員会において、「報告の時期が遅すぎるのではないか」との意見が多数あり、今後もっと早く報告できるよう努力してまいります。改めて対応が遅いことにおわび申し上げます。また、懇談会のあり方についても議論が交わされ、各世代、多くの皆さまが気軽に参加できるよう、「テーマ別にする」「ワールドカフェ方式」などを現在検討しております。■蛇は脱皮を繰り返し成長します。私個人もそうですが、今年合併20周年を迎える大仙市議会が、市民の皆さまの負託により一層応えられるよう、巳年にあやかって脱皮を繰り返し、さらなる成長を遂げる1年にしたいと思います。

FacebookとInstagramで議会の情報を発信しています



Facebook



Instagram

あなたのギカイ 14